2008 年度

科目名	対象学科・学年	担当者
文学研究技術論	文学部日文２回生	足立　匡敏

授業テーマ

古典文学を対象とした電脳国文学研究

授業の概要と目標

この授業では、Excell2003 および Word2003 を使用し、これからの学生生活において必要となる、情報収集の方法・データベース構築の方法・基礎文献の扱い方・レジュメの構成について学びます。

評価方法

授業の出席日数（40%）と平常評価（60%）などを総合的にみた上で評価します。

テキスト	著者	出版社

参考書	著者	出版社
授業中に指示する		

授業スケジュール・内容

第一回	テーマの説明と基礎事項の確認
第二回	資料の利用（1）
第三回	資料の利用（2）
第四回	データ入力（1）
第五回	データ入力（2）
第六回	研究の手順確認
第七回	演習発表（1）
第八回	演習発表（2）
第九回	演習発表（3）
第十回	演習発表（4）
第十二回	演習発表（5）
第十三回	演習発表（6）
第十四回	演習発表（7）
第十五回	演習発表（8）

この授業では、古典文学作品を題材として、コンピュータを利用して国文学の研究演習を行います。古典文学とコンピュータ、というとおかしな組み合わせに思われるかもしれませんが、そんなことはありません。古典文学の研究でも９０年代の初めからコンピュータ利用が盛んで、現在までに相当の研究が蓄積されています。

受講者のみなさんには、すでに確立されている古典文学におけるコンピュータ利用の方法を学んでもらうことで、きわめて効率的な授業運営が可能になるものと考えています。

より具体的には、Excell2003 を使用したデータベース作成とその利用、Word2003 を使用した見やすいレジュメの作り方、そして人前でプレゼンテーションする能力を習得してもらう予定です。

なお、**1／3以上の欠席は自動的に授業放棄の扱い**となるので、受講にあたっては注意してください。